

# 基礎講座 1



Sohei Yamada

# 基礎講座 2



May Amemomori

平成 28 年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業「美術館等と連携する地域アートプロジェクトを活用するアートマネジメント人材育成プログラムの構築と実施・評価」

## 基礎講座開講します!

Yasunori Goh



# 基礎講座 3

Hiroko Kikuchi



# アーツでまなび、アートでつなぐ! 「まえばしアートスクール計画」

## 第 1 回 5 月 14 日 (土)

12:30~15:00 (受付 12:00~)

会場・前橋プラザ元気 21・502 学習室

講座 1: 「アートプロジェクトにおける地域研究の重要性」

**山田 創平** (京都精華大学人文学部総合人文学科長・准教授)

講座 2: 「地域に根ざしたアートプロジェクトの実践とそのマネジメント」

**雨森 信** (大阪市立大学文学部 特任講師 / Breaker Project)

## 第 2 回 5 月 15 日 (日)

12:30~15:00 (受付 12:00~)

会場・前橋プラザ元気 21・505 学習室

講座 3 「アートプロジェクトと学び」

「美術館 × アートプロジェクトの中の学び: 東京都現代美術館の実践などを例にして」

**郷 泰典** (東京都現代美術館学芸員)

「アートプロジェクトの中の学び: アートと社会・地域をつなげるエンゲージメントとエデュケーション」

**菊池 宏子** (アーティスト / NPO 法人インビジブル クリエイティブ ディレクター)

受講  
無料

※引き続き受講生の皆さんには集中講座があります (任意参加)

15:30-17:30

集中 1: アートプロジェクトと記録と評価概論

茂木一司・橋本誠・熊谷薫

・事業の説明

・アートプロジェクトの目的と記録・アーカイブと評価の連動

・記録ノートの紹介と記述方法など

※引き続き受講生の皆さんには集中講座があります (任意参加)

15:30-17:30

集中 2: アートプロジェクトと広報

鈴木潤子 (@j(アットジェー) ディレクター)

・アートプロジェクトの実践と広報、ディスカッション、ほか

申込締切

事前申込制

お問い合わせ  
お申し込み

## 平成28年5月6日(金)(必着)

氏名、メールアドレス、電話番号、職業・所属を書いて、メールまたはFAXで  
群馬大学教育学部美術教育講座・茂木研究室までお申込ください。

email: [gundaiart2015@gmail.com](mailto:gundaiart2015@gmail.com) ・FAX: 027-220-7310

住所: 〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2 群馬大学教育学部 事業担当: 中島・福西

<http://moka7887.p2.bindsite.jp/w1docs/pg123.html>



# 平成28年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業「美術館等と連携する地域アートプロジェクトを活用するアートマネジメント人材育成プログラムの構築と実施・評価」 アーツでまなび、アートでつなぐ! 「まえばしアートスクール計画」

## ○基礎講座の趣旨

“現代はアートの時代だ” (R. シュタイナー)

この現代の多角的共生社会を覆う複雑な問題群はアートの力によってしか解決はできない! アートは私たちが拘束している既存の仕組みを批判し、はみ出す力を与えてくれる。同時に、アートの学びはばらばらになった思考や身体をつなぎ直し、全体性を恢復させ、私たちが今、ここにいるという確かな感覚を呼び起こす。

前橋をもっと創造性豊かでアートなまちに変えていきたい。名づけて「まえばしアートスクール計画」。学校のアート教育が衰退していく今、前橋のまちにアート教育の機能をもたせ、フォーマル教育(学校など)とインフォーマル教育(日常の学び)をアートでむすびながら、教育そのものをアート化していく。それは、前橋のまちのひと・もの・ことがアートで包摂され、アートから遠い人たちも巻き込んでいくインクルーシブアート教育である。「アートスクール」には「アートの学校」の他に「アート派」という意味もある。私たちは「アート派」として、アートの多様性を活かして生きていく人を育てたい。「まえばしアートスクール計画」は、アーツ前橋と群馬大学が中心になって、市内の学校、文化施設、高齢者介護・障害者施設、アーティストなどと連携しながら、子ども、高齢者、障害者、多文化などのアートから遠い人をアートで包摂していくプロジェクトである。私たちはアートの教育/学習を表現として発信していく、このプロジェクトを通して、地域コミュニティの問題と対峙できるアートマネジメント人材を育成していく。

本事業では理論を学ぶ基礎講座、「記録と評価」を学ぶ集中講座と4つの実践講座(地域アートプロジェクト)を設けました。

基礎講座は、広義のアートマネジメントをさまざまな視点から俯瞰できる講座として、実践講座のための基礎的知識を準備する講座として開講します。前橋をインクルーシブで持続可能な地域社会に再生するために、アートによって、人・もの・ことをつなぐマインドとスキルを持つ人が増えることを期待しています。市民へのオープンな開放講座ですので、みなさまのご参加をお待ちしています。



**山田 創平(やまだ そうへい)** (敬称略、以下同様)  
京都精華大学人文学部総合人文学科長・准教授  
群馬生まれ。名古屋大学大学院修了。博士(文学)。専門は社会学(言説理論を用いた地域研究、人権研究)。厚生労働省所管の研究機関などを経て現職。  
NPO法人アートNPOリンク理事、大阪市現代芸術創造事業(Breaker Project)実行委員、京都市若手芸術家などの居住・制作・発表の場づくり事業(HAPS)実行委員。また近年は国内外のアートプロジェクトでリサーチやコンセプトデザインに関わり、自らも舞台作品などの制作を行っている。編著書に『たたらからLGBT&アート(同性パートナーシップからヘイトスピーチまで、人権と表現を考えるために)』(法律文化社、2016)、共著書に『ジェンダーと「自由」—理論、リベラリズム、クイア』(彩流社、2013)などがある。



**雨森 信(あめの もりのぶ)**  
大阪市立大学文学部特任講師、成安造形大学客員准教授、Breaker Projectディレクター  
大阪生まれ。京都市立芸術大学美術学部工芸科卒業。2003年より大阪市文化事業として「Breaker Project」を企画・運営。既存の美術空間やシステムにはおさまらぬ独自の表現活動を開拓するアーティストとともに、新たな表現領域を探索する。地域に根ざしたアートプロジェクトを長期的に実践していくことで、現代における「芸術と社会の有効な関係」と、アートマネジメントの役割について再考する。



**郷 泰典(こう やすのり)**  
東京都現代美術館事業推進課教育普及係長・学芸員  
ギャラリー、出版社勤務等を経て、1998年よりフリーのワークショップ・プランナーとして活動。作品と鑑賞者をつなぎ、日常生活におけるアート体験へと導く、主に子どもを対象としたワークショップ・プログラムを企画し、全国各地の美術館・学校・病院などで実施。2007年より東京都現代美術館教育普及係長・学芸員。鑑賞プログラム、ワークショップ等多数企画実施。担当企画展覧会「オバケとパンツとお星さま〜こどもが、こどもで、いられる場所」(2013年)。



**菊池 宏子(きくちひろこ)**  
アーティスト、NPO法人インビジブル クリエイティブディレクター  
東京生まれ。ボストン大学芸術学部彫刻科卒、米国タフツ大学大学院博士前期課程修了(芸術学修士)。MITリストビジュアルアーツセンターやボストン美術館含む、美術館、文化施設、まちづくりNPOにて、エデュケーション・プログラム・ワークショップ開発・リーダーシップ育成、コミュニティ・エンゲージメント戦略・開発、そしてアートや文化の役割・機能を生かした地域再生事業など多数携さわってきた。2011年、東日本大震災を機に東京に戻り現在に至る。わがプロジェクト、あいちトリエンナーレ2013・教育普及事業統括などで従事。他、こどもみらい探求社、CANVAS、福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会など、アートを使った教育関連の共同プロジェクトを多数企画。武蔵野美術大学、立教大学兼任講師なども務めている。



**茂木 一司(もぎ かずじ)【進行】**  
群馬大学教育学部教授・特定非常勤活動法人WSD推進機構理事長・特定非常勤活動法人まえばしプロジェクト理事  
専門：美術科教育、ワークショップ学習論、インクルーシブアート教育。  
1956年群馬生まれ。筑波大学大学院芸術研究科修了。九州芸術工科大学大学院博士後期課程芸術工学研究科情報伝達専攻修了。博士(芸術工学)。鹿児島大学教育学部助教授を経て、現職。身体・メディア学習環境デザインアートワークショップ+障害児の表現教育に関心を持ち、現在「インクルーシブアート教育」を構想し、幅広く研究中。著書に、『協同と表現のワークショップ』(代表編集)、『ワークショップと学び2』(共著)、『色のまなび事典』(3巻、共編書)ほか。



**住友 文彦(すみともふみひこ)【進行】**  
アーツ前橋館長・東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科准教授  
1971年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科修了。あいちトリエンナーレ2013、メディア・シティ・ソウル2010(ソウル市美術館)の共同キュレーター。NPO法人アーツインシアティヴトウキョウ(AIT)創立メンバー。  
展覧会=「Possible Futures:アート&テクノロジー過去と未来」展(ICC東京、2005)、「川俣正(通称)」(東京都現代美術館、東京、2008)、ヨコハマ国際映像祭2009ほか。共著=「キュレーターになる」ほか。

## ●会場へのアクセス

最寄り駅からの時間:JR前橋駅北口より徒歩10分

上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩5分

路線バス:1~3.5番のりばから路線バス「本町」下車、徒歩約2分

市内循環バス(マイバス):

3番のりばからマイバス南循環27「坂下」下車、徒歩約2分

3番のりばからマイバス共通2「元氣21北」下車、徒歩約2分

自動車:関越自動車道 前橋ICから約15分

◎駐車場案内

ご来館の方は、以下の5つの駐車場をご利用いただくと、施設の利用に  
応じて駐車券に割引処理をいたします。中央公民館まで駐車券をお持ち  
ください。

前橋プラザ元氣21駐車場・前橋中央駐車場・

市営パーク五番街・市営パーク千代田・市営パーク城東

※駐車場は周辺道路を含め大変混雑する場合があります。

なるべく公共交通機関のご利用をお願い致します。



主催:群馬大学 共催:前橋市

助成:平成28年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業  
「美術館等と連携する地域アートプロジェクトを活用するアート  
マネジメント人材育成プログラムの構築と実施・評価」

